

狸弟写真真俳句集 一



紫陽花や命日の雨ふりやまず

2023 年 6 月 2 日



梅雨晴れや多摩川の沙魚一尾かな

2023 年 6 月 16 日

p. 3



水無月や大師の庭の広さかな

2023 年 6 月 17 日

p. 4



梅雨空や肉焼く薪の炎かな

2023 年 6 月 21 日

p. 5



夏風が鼻を抜けるや辛み蕎麦

2023 年 6 月 26 日

p. 6



夏雲や臼杵の里の磨崖仏

2023 年 6 月 27 日

p. 7



送り梅雨大の字の猫芸はなし

2023 年 7 月 9 日

p. 8



向日葵や爪痕残し梅雨去りぬ

2023 年 7 月 11 日

p. 9



宇和島の花火
水面に映りけり

2023 年 7 月 23 日

p. 10



夏の夜の月下美人に薫り有り

2023 年 7 月 24 日

p. 11



初盆の灯入れ済みけり露天風呂

2023 年 7 月 26 日



夏の日の
パスタ
伊丹十三の
味

2023 年 8 月 5 日

p. 13



故郷の海辺の花火見上げり

2023 年 8 月 12 日



迎え火や山から風の下り来る

2023 年 8 月 13 日

p. 15



雷鳴の先より驟雨迫り来る

2023 年 9 月 2 日



風涼し月下美人咲く十三夜

2023 年 8 月 29 日



青蜜柑千切りて
手のひらに重し

2023 年 9 月 2 日

p. 18



秋の夜猫のロマンス
注ぐワイン

2023 年 9 月 3 日



空蝉や昔々の物語り

2023 年 9 月 10 日



白木槿芙蓉を姉と
慕ひけり

2023 年 9 月 14 日



蝉時雨読経の終わり
「喝」響く

2023 年 9 月 19 日



彼岸花
私一人で生きてくわ

2023 年 10 月 4 日

p. 23



コスモスや三児の母に
なりし君

2023 年 10 月 7 日



仰ぎ見る木犀の香や
満ち溢る

2023 年 10 月 17 日



十二月注文の蜜柑送りきる

2023 年 12 月 9 日



柿の葉の落ちて残りし
実をもげり

2023 年 12 月 10 日



幾たびの災ひ経しや
梅の花

2024 年 1 月 22 日



選果終へ腰伸ばしけり
白椿

2024 年 2 月 22 日



虚子の忌や薪の炎で
レバー焼く

2024 年 4 月 8 日

p. 30



筍を掘りて竹林風涼し

2024 年 4 月 16 日



竹の花百二十年の命かな

2024 年 5 月 3 日



梅雨晴れや
スプリンクラーの
虹を見る

2024 年 7 月 4 日



向日葵や一人背筋を
伸ばすなり

後書き

狸弟君が作句をはじめて一年余り。塵も積もればなんとかと言
うけれど、狸弟君の駄句も集まれば薪ストーブのたきつけぐら
いにはなりそうである。最近、作句の頻度がおちているようだ
が、すこし発破をかけておこう。

高月みかん農園 園主

2024 年 7 月 24 日